

### 3 今月の青果物

#### びわ

主要産地のびわの入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	2025年度5月入荷量	2025年度5月シェア率
千葉	6 t	5.1 %
香川	0 t	0.0 %
愛媛	0 t	0.4 %
長崎	106 t	92.2 %

5月入荷予測	115t(前年比100.4%、平年比75.8%)		
5月価格予測	2,100円(前年比96.9%、平年比120.0%)		
5月市況予測	(上旬) 保合 ⇒	(中旬) 保合 ⇒	(下旬) 保合 ⇒

#### 今後の競合産地の動向は?

東京都中央卸売市場では、5月下旬のピークに向け、びわの入荷が3月上旬からスタートしています。例年2月下旬から3月上旬に長崎県のハウス物の入荷が始まり、4月上旬から千葉県のハウス物の入荷が始まります。その後、長崎県の露地物が5月の連休前後から、千葉県の露地物が5月下旬頃から始まります。

2025(令和7)年の年間入荷量シェアは、長崎県が76.6%、次いで千葉県が11.0%、愛媛県が5.2%、香川県が4.1%と長崎県が大部分のシェアを占めています。

現在は、長崎県、千葉県、鹿児島県、沖縄県から入荷があり、主産県である長崎県は、夏の暑さ十年明けの寒さで生育が遅れ、かつ小玉傾向であった前年作に比べると、今年作は順調です。ハウス物は2月下旬から出荷が始まり、若干遅れ気味で出荷されているので4月下旬～5月上旬がピークとなり、5月上旬から露地物の出荷が開始され、ピークは20日頃で、Lサイズ中心を見込んでいます。

千葉県のハウス物については、4月第3週ごろより出荷が始まり、連休明けから本格的な数量増が見込まれます。露地物については、4～5月の気温が平年を上回ることが予想されることから、出荷時期は平年より前進する見通しであり、数量は前年並み、2L中心となる見込みです。

※右のグラフは長崎県だけ入荷量が多いため、入荷量最大値が80t/旬となっています。

